

●第17回臨床解剖研究会のご案内

(第23回九州内視鏡外科手術研究会共催)

会 期：2013年 8月23日(金), 24日(土)

会 場：城山観光ホテル(〒890-8586 鹿児島市新照町41-1 電話 099-224-2211)

当番世話人：島田和幸教授(鹿児島大学大学院人体構造解剖学)

夏越祥次教授(鹿児島大学大学院消化器・乳腺甲状腺外科学)

主 題：①鏡視下手術からみた解剖—特にリンパ節郭清を中心として—

②頭頸部の臨床解剖

演題募集：主題ならびに一般演題を募集いたします。詳細は<http://www.jrsca.jp/>をご覧ください。

当番事務局・問合せ先：第17回臨床解剖研究会事務局 鹿児島大学大学院人体構造学

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1 電話 099-275-6112 FAX 099-275-6118

* * *

●編集後記

臨床解剖研究会記録 No. 13 をお届けします。本号は、2012年9月に名古屋市で行われた第16回臨床解剖研究会の記録であります。当番世話人の前田耕太郎教授(藤田保健衛生大学)ならびに教室の皆さまの献身的なご尽力により、多数の参加者による熱い質疑応答が繰り返され、コーヒープレイクがスキップされるほど充実した学術集会となりました。とりわけ、シンポジウム「骨盤臓器解剖のすべて」の各演題は、特別講演なみに力のこもった労作であり、さすが骨盤外科を専門とする前田教授の企画と人選に感じ入った次第であります。

2012年は7月に米国臨床解剖学会 American Association of Clinical Anatomists (AACA) がカリブ海のグレナダでありましたし(臨床解剖研究会ニュース, 15号参照), また11月には、秋田恵一教授(東京医科歯科大学臨床解剖学)のご尽力により、第1回アジア臨床解剖学会 Asian Association of Clinical Anatomists (AsACA) が日中韓3国からの参加者を集めて、韓国の釜山で開催されました。臨床解剖学の輪が世界に広がっていることを喜ぶたい半面、この分野では、アジア、とりわけ日本の水準が非常に高いことを再認識し、ファーストランナーとしての責任を自覚しなければならぬと感じたのも事実です。今年は隔年開催のヨーロッパ臨床解剖学会 European Association of Clinical Anatomy (EACA) の学術集会が6月下旬にリスボンで開催されます。欧州各国に日本の臨床解剖学研究のきめの細かさを伝えるチャンスだと思われまます。多くの先生方が参加されるよう希望いたしております。

来る8月23~24日に鹿児島で行われる第17回臨床解剖研究会(当番世話人、島田和幸人体構造解剖学教授ならびに夏越祥次消化器・乳腺甲状腺外科学教授)は本研究会にとって初めてづくしの集会となります。まず、はじめて九州で開催されること、次に主題の一つとして頭頸部が選ばれたこと、そして第23回九州内視鏡外科手術研究会と共催として行われることです。近年、内視鏡外科手術の進歩は驚くべきものがあり、これまで見えにくかった構造物で明確に認識できるようになったものが少なくありません。見えるようになって、そして必要が生じて新しい臨床解剖学が要請されてきます。また一方で、超局所の所見をいかに全体のなかに位置づけて理解するかという新しい課題も生じてくるはずで、外科医と解剖学者のコラボレーションの新しい形態をさぐるためには、またとない機会となると期待されます。皆さまの積極的な参加をお願いいたします。(会長 佐藤達夫)

臨床解剖研究会記録 No. 13 2013年2月発行

編集・発行 臨床解剖研究会

東京医科歯科大学臨床解剖学

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

TEL 03-5803-5145 FAX 03-5803-0116

<http://www.jrsca.jp/>

印刷・製本 小宮山印刷工業株式会社
